受賞 おめでとう

永年にわたり議会議員として地方自治の振興発展に寄与された功績により表彰されました。

受賞を心からお祝い申し上げます。

◎全国町村議会議長会自治功労者表彰（勤続15年）

勝俣　徹　議員
勝俣　俊　彦議員
川端　祥　介議員

◎神奈川県町村議会議長会自治功労者表彰（勤続11年）

古川　貞　夫議員
勝俣　清　春議員

勝俣清春議員　古川貞夫議員　勝俣　徹議員　勝俣俊彦議員　川端祥介議員

常任委員会行政視察レポート

総務企画常任委員会

2月3日から5日までの2泊3日で、大分県湯布院町と日田市を視察しました。

初日は、湯布院町を訪れ、「観光地における まちづくりについて」を視察しました。

住民が安心して生活できるまちづくり、優れた観光地をモットーにまちづくりを行っており、辻馬車・音楽祭・映画祭・牛喰い絶叫大会など町民中心の運営について、学ぶことができました。また、町立健康温泉館は町民の健康増進と医療費抑制に寄与しているとのことでした。

翌日は、日田市を訪れ、「まちづくりと交通問題の社会実験および行政改革の取り組みについて」をテーマに、歴史と文化を活かす観光のための交通実験等を視察しました。江戸時代、天領地であった日田市は、豆田地区という歴史的建造物保存地区があり、多くの観光客で賑わっています。

歩行者天国やコミュニティバス、渡し船による交通実験は、日田市の施策に今後活かされていくものと思いました。

今回の視察を通して、同じ観光地として共通する多くの問題を抱えていることが再確認できました。また、今後当町のまちづくりにも大変参考となりました。

（加藤　記）

教育福祉常任委員会

昨年の11月25日、長野県松本市を訪れ、「熟年体育大学の実践」について視察をしました。

高齢社会の中にあって、誰もが元気はつらつと人生を送ることができれば、それに伴って医療費も減っていくのではないか。高齢者が筋肉トレーニングで背筋が伸び、寝たきりが減っている等のテレビや新聞報道を見るたびに、当町においても避けて通れない課題であるとかねがね思っていました。

松本市の人口は約21万人で、高齢化率は20％です。「松本市熟年体育大学」は、運動の継続を実践し、生きがいづくりと毎日の自主的な体力増進を行うと同時に、医療費の削減も図る目的で、1997年から実施されており、40歳から75歳までの125名が2年間参加する大学です。

この事業は、信州大学の医学部と教育学部や、民間のソフト開発会社の協力を得て、指導や個人データの分析、管理を行っていますが、運動の他にもキャンプや見学観察等も行われています。

課題としては、男性や施設から遠い方の参加が少ないことや、指導者の育成、確保を図ることが急務となっています。

なお、効果としては、3年前で医療費が受講者と一般の方とを比較して、約3万5千円の差が出ているそうです。（山田　記）

観光環境常任委員会

昨年の11月24日から2泊3日で、長野県を視察しました。

初日は、長野県庁を訪れ、温泉問題について視察しました。

長野県では、観光客に安心して気持ちよく利用してもらうため、温泉利用施設に関するありのままの情報を事業者自らが的確に提供し、信州の温泉に対する信頼を高めるため、全国に先駆け「安心、安全、正直」な信州の温泉表示認定制度を創設し、11月9日からスタートしていました。

正直に表示すれば信頼は必ず取り戻せると確信しているとのことでした。

2日目は、長野市を訪れ、指定管理者制度について視察しました。

長野市ではすでに条例・規則を定め上げ、事業者説明会も終了しており、平成18年4月の施行を目指し、着々と準備が進められていました。

3日目は、小布施町の第3セクターであるロアラ小布施を訪れ、観光振興によるまちづくりについて視察しました。小布施町は「芸術文化」「食文化」「花と景観」という3本の柱でまちづくりを行っており、民主動でまちづくりに取り組んでいる姿勢を強く感じました。